

『いっしょに行こう』はたちの献血

冬の季節は、献血者が減少しがちです。また、昨今のコロナ禍の影響で、イベントや企業での献血バスの運行件数が減少し、血液の安定供給に不安が残る状態が続いています。安全な血液製剤を安定的に確保するため、新たに成人を迎える「はたち」の若者を中心に、献血に関するご理解とご協力をお願いします。

◎献血について

200ml献血は男女とも16歳から、400ml献血は男性で17歳・女性で18歳から、献血バスか献血ルームで献血できます。血液には有効期間があるため、常時献血をお願いしています。詳細については日本赤十字社のホームページをご確認ください。

日本赤十字社ホームページ▶



◎献血を実施します

◇日時 令和3年1月13日(水)午後0時45分～4時

◇会場 美浦村保健センター

※400ml献血限定。男女ともに体重50kg以上の方が対象となります。

◇問合せ 健康増進課(保健センター) ☎029-885-1889



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

第3回

美浦村 × SDGs

(エスディーゼーズ)

持続可能な(SUSTAINABLE)開発(DEVELOPMENT)目標(GOALS)について考えてみましょう

◆ゴール4 質の高い教育をみんなに



2030年までにすべての人々が男女の区別なく、手の届く質の高い技術教育・職業教育および初等教育、中等教育、大学を含む高等教育への平等なアクセスができるようにしています。村でも、子どもたち一人ひとりの個性や意欲を尊重した教育に取り組みながら、ハード・ソフトからICT(情報通信技術)を教育に活用するとともにキャリア教育や社会変化に対応した教育、自然・歴史など村の地域資源を生かした教育など、特色ある教育内容の充実に努めていきます。

◆ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう



未だ世界では地域によって女性の就業率における割合は低いとされています。日本でも国会議員における女性の割合は5人に1人となっています。多様性を受け入れ、社会的マイノリティ(少数派)と言われる方々と共に、尊厳ある生活をする事で社会全体の幸福度の向上を目指すことが求められ、時代に応じて様々な問題の解決を図っていくことが課題となっています。あらゆる機会を通じて、男女共同参画社会の意識啓発や人権教育・社会啓発事業を推進して、差別と偏見のない地域社会づくりを目指します。

◆ゴール6 安全な水とトイレを世界中に



世界では、3人に1人(24億人)が未だに改善されていない衛生施設を使用している状態であり、2030年までに国境を越えた適切な協力を含む、あらゆるレベルでの統合水資源管理を実施するとしています。村でもこれまで「安全な水の提供と、適正な汚水処理」のために上水道事業と農業集落排水事業、公共下水道事業を進めてきました。また霞ヶ浦に代表される水辺においても、美しい自然環境の保全と、より暮らしやすい生活環境を作らなければなりません。豊かな水環境維持のために、今後も計画的に進めていきます。

出典：国連ミレニアム開発目標報告2015

▶次回はゴール7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、ゴール8「働きがいも経済成長も」を紹介予定です。